

「NECグループ環境経営行動計画2017／2030」の進捗と気候変動の新目標

NECは、中長期の環境経営目標である「NECグループ環境経営行動計画2017／2030」に加え、2014年からは気候変動対策への貢献を強化する新たな環境経営目標を掲げて取り組んでいます。

「NECグループ環境経営行動計画2017／2030」において、「低炭素」「生態系・生物多様性」「資源循環・省資源」の3つの視点から具体的な目標を掲げて取り組んでいます。

低炭素の目標の一つである「ITソリューションの提供を通じたお客さま・社会からのCO₂排出削減貢献」では、2018年3月期に1,500万tのCO₂排出削減に貢献する目標を掲げて取り組んでいます。当年度には新たに254万tのCO₂排出削減に貢献しました。これで2011年3月期からの5年間の累積が1,171万tとなり、目標達成に向けて着実に進捗しています。

また、低炭素のもう一つの目標の「製品使用段階におけるCO₂排出削減に向けた製品のエネルギー効率の改善」については、2018年3月期に2006年3月期製品比で80%削減する目標に対し、当年度は91%と目標を大幅に上回る成果となりました。これは、エネルギー効率の改善率が非常に高いモバイルインフラ装置の出荷が伸びたことが主な要因です。

生態系・生物多様性保全への貢献では、従業員の社会貢献活動を通じた生態系・生物多様性保全活動へグローバルで9,889名が参加しました。また、NECグループの先進技術や製品を活かした生物多様性保全貢献ソリューションは、特定外来生物駆除支援ソリューション、養殖管理ポータルなど新たに3つを加え、累計で9つとなりました。

資源循環・省資源の活動目標であるNECのバイオプラスチック「NeCycle[®]」の適用拡大については、新たにPOS端末のベースユニットへ使用するなど適用を進めています。

2014年からは、気候変動に対し従来からの温室効果ガスの排出抑制、いわゆる「緩和」への一層の貢献拡大に加え、NECが注力する社会ソリューション事業を通じて、気候変動の影響から増加する災害、食糧・水不足などへの備え、いわゆる「適応」への貢献を拡大する取り組みを開始しました。「緩和」としては、サプライチェーン全体での排出削減に向け、玉川事業場におけるコミュニティレベルでのエネルギーの統合管理や、サプライヤーとの連携強化によるScope3データの精度向上と、第三者検証による信頼性の向上をはかりました。「適応」については、具体的にITがどのように貢献できるのかを分かりやすくまとめたパンフレットを作成するとともに、適応へ貢献できるソリューションの強化と貢献量の定量評価の試行を開始しています。これらの取り組みを通じ、「2020年度にサプライチェーン全体のCO₂総排出量に対して5倍のCO₂削減に貢献する」という新たな環境経営目標を策定して取り組んでいます。

